

ザ・クラッカー／真夜中のアウトロー（1981）

THIEF
VIOLENT STREETSメディア 映画
ジャンル 犯罪 サスペンス
製作国 アメリカ
時間 123分
初公開日 1981/06/06
公開情報 U A

【解説】

そのスタイリッシュな映像にこの一作で俄然注目を集めたマイケル・マンの劇場デビュー作。公開時のパンフの増淵健先生の『帰ってきた西洋石松』と題する文に思わず唸った。書き出しはこうだ。『もはや猿である。この男は……』。そう、そんな毛むくじゃらな胸が売りの“西洋長嶋”カーンが、表と裏の顔を使い分けるアウトローを熱っぽく演じるバイオレンス快作が本篇。昼はしがない中古車センター経営者のフランクは、夜は天才的金庫破り“クラッカー”に豹変。限られた仲間と己のためにだけ仕事をしてきた彼だが、獄中にある師オクラ（W・ネルソン）のため、危険な“組織”の仕事に手を貸す。アドバイザーに四人の元本職のお尋ね者を雇い、裏稼業の生態を暴き出す。友を殺され、妻子を逃がして家に火を放ち、単身殴り込みに向かう終幕は日本の仁侠映画そっくりと評判がたった。BGMはおどろおどろしいプログレのタンジェリン・ドリーム。いやあ〜、カッコイイ。

【クレジット】

| | | | |
|---------|----------------|---------------------|------|
| 監督 | マイケル・マン | Michael Mann | |
| 製作 | ロニー・カーン | Ronnie Caan | |
| | ジェリー・ブラッカイマー | Jerry Bruckheimer | |
| 製作総指揮 | マイケル・マン | Michael Mann | |
| 原作 | フランク・ホヒマー | Frank Hohimer | |
| 脚本 | マイケル・マン | Michael Mann | |
| 撮影 | ドナルド・ソーリン | Donald Thorin | |
| 編集 | ドヴ・ホーニグ | Dov Hoenig | |
| キャストイング | ヴィク・ラモス | Vic Ramos | |
| 音楽 | タンジェリン・ドリーム | Tangerine Dream | |
| 出演 | ジェームズ・カーン | James Caan | フランク |
| | チューズデイ・ウェルド | Tuesday Weld | ジェシー |
| | ウィリー・ネルソン | Willie Nelson | オクラ |
| | ジェームズ・ベルーシ | James Belushi | バリー |
| | ロバート・プロスキー | Robert Prosky | レオ |
| | トム・シニョレッリ | Tom Signorelli | |
| | デニス・ファリナ | Dennis Farina | |
| | マイク・ジェノヴィーズ | Mike Genovese | |
| | ジョン・サントウッチ | John Santucci | |
| | ハル・フランク | Hal Frank | |
| | ウィリアム・L・ピーターセン | William L. Petersen | |

